

教育研究評議会議事録（第156回）

日 時：平成29年4月27日（木）15時00分～16時50分

場 所：事務局2階 第一会議室

出席者：岩渕、小川、丸山、菅原、大藤、八代、喜多、横山、遠藤、船崎、高畑、比屋根、
関野、齋藤、白倉、開、宮本、宇佐美、菊地、田代、藤代、海田、吉澤、倉島、
武田、御領

欠席者：吉川、上村

配付資料

- ・ 国立大学法人岩手大学教育研究評議会規則
- ・ 岩手大学教育研究評議会評議員名簿

資料1-1. 名誉教授の称号授与について

資料1-2. 功績調書

資料2. 学生の懲戒について（回収資料）

資料3. 軍事的安全保障研究に関する声明

資料4. 国立大学法人岩手大学学長補佐の任命等について

資料5-1. 教員人事に関する報告

資料5-2. "

資料5-3. "

資料5-4. "

資料5-5. "

資料6. 平成29年度入試委員会（第1回）記録案

資料7. 平成28年度卒業・修了者の進路状況調査

資料8. 岩手大学平成29年度入学者数

資料9. 岩手大学釜石キャンパス開設記念フォーラム（案）

資料10. 役員会報告

資料11. 学長・副学長会議報告

資料12. 岩手大学教育研究施設長等の任命等について

資料13. 岩手大学学長等職員名簿について

資料14. 主要会議の開催日程について

議事に先立ち、学長から新任の評議員及び学務部長の紹介があった。

また、4月4日（火）に全学説明会を行った「岩手大学の今後の方針として大学が取り組むべき課題等について」、再度説明があり、評議員に協力いただきたい旨が述べられた。

議 題

1. 名誉教授の称号授与について

学長から、名誉教授の称号授与について諮る旨が述べられ、次いで資料に基づき、各学部長から候補者として推薦した者の功績等について説明があり、審議の結果、候補者7名全員に名誉教授の称号を授与することが了承された。

なお、学長から、称号授与式を5月27日（土）の開学記念行事の際に行うので、役員及び学部長は参加して欲しい旨の依頼があった。

2. その他

なし

報 告

1. 学生の懲戒について

工学研究科長から、回収資料に基づき、前回の評議会で上申書に補足記載することとなっていた無期停学処分とした理由、加害学生の反省状況について報告があり、ネット上の個人情報を書き込み削除状況について併せて報告があった。

2. 軍事的安全保障研究に関する声明について

学長から、資料に基づき、日本学術会議から出された「軍事的安全保障に関する声明」を受けて、岩手大学では軍事目的のための科学研究は行わない方針を取ることを表明があった。

委員から、「軍事的研究を認めないことには賛成するが、研究資金が何の目的で出ているかチェックする機能を作る必要があるのではないか」、「研究者本人が倫理観を持って対応する必要がある、皆が資金を受け取らないという姿勢を示せば大きな動きになるだろう」、「何らかの文書で岩手大学はやらないと示す必要があるのではないか」、「研究分野が軍事的なものに近い場合、防衛省や第三者から委託されることがあり、大学の方針を表明することは重要と思う。」などの意見があった。

学長から、この問題を研究戦略会議で検討するよう指示があった。

3. 国立大学法人岩手大学学長補佐の任命等について

学長から、3月30日の役員会で学長補佐に関する要項を定め、4月1日付けで、学長補佐（教育企画担当）として後藤尚人教授を任命したことの報告があった。

4. 教員人事について

理工学部長から、4件の教員人事（内部昇任2件、採用2件）について、資料に基づき報

告があった。

次いで、農学部長から、1件の教員人事（採用）について、資料に基づき報告があった。

学長から、教員にも英語力が求められていること、海外派遣に名乗りを上げる教員が少ないことなどから、もっと語学力向上の努力をしてもらいたいとの付言があった。

また、菅原理事から、是非女性教員限定公募や女性教員優先公募を検討して欲しいことが述べられた。

5. 平成29年度第1回入試委員会報告

丸山理事から、資料に基づき、第1回入試委員会の報告があり、学外試験場（後期日程の名古屋会場）の取扱について、各学部から提出される意見を踏まえ、次回の委員会で継続・廃止の決定をしたいこと、朝日新聞に掲載された新テストの原案に関する記事について、現状ではまだ文部科学省から方針が出されていないことの説明があった。

学長から、岩手県教育委員会との意見交換において、今後の高大接続について検討していくこと、入試ミスを減らすための体制を強化することが述べられた。

6. 平成28年度卒業・修了者の進路決定状況について

丸山理事から、資料に基づき、平成28年度卒業・修了者の進路決定状況について、COC事業の目標値である県内就職率39%を超えたことの報告があった。

学長から、大学院進学率を向上させることについても取り組んでもらいたいことが述べられた。

7. 平成29年度入学者数について

丸山理事から、資料に基づき、平成29年4月入学者について、大学院定員に対し現時点では入学者数が少ないが、10月入学分が残っていることの報告があった。

理工学部長から、「特定のコースで定員割れがあるが、どうしたら定員確保が出来るかが課題であり、他大学からの再入学等の検討も必要かもしれない。」との意見があった。

8. 岩手大学釜石キャンパス開設記念フォーラムについて

地域連携推進部長から、資料に基づき、6月11日（日）に釜石キャンパス開設記念フォーラムを開催すること、看板上掲式と市民の方を交えたフォーラムを行うことの説明があった。

学長から、平成30年の秋以降、農学部水産コースの学生が配属となることや、今後施設整備概算要求等を行っていくためにも、今までの「サテライト」から「キャンパス」と呼称を変更したいことが述べられた。

委員から、「陸前高田グローバルキャンパス」との違いが不明である、今まで岩手大学はワンキャンパスであることを売りに広報していたが、今後どうなるのかと質問があり、学

長から、地域全体を含めて「キャンパス」と呼称し施設整備概算要求に備えたいこと、名称については、学長・副学長会議で検討することが述べられた。

9. 役員会報告について

学長から、前回の評議会以降に開催された役員会（第497回）について、資料に基づき報告があった。

10. 学長・副学長会議報告について

学長から、前回の評議会以降に開催された学長・副学長会議（第77回～第79回）について、資料に基づき報告があった。

11. その他

- ・岩手大学教育研究施設長等の任命について
- ・岩手大学学長等職員名簿（配布）
- ・主要会議の開催日程（配布）

学長から、席上配布資料に基づき、教育研究施設長等を任命したことについて報告があった。

なお、学長から、6月16日に総合科学研究科開設フォーラムを開催する予定であることの報告があった。

また、評議会で検討する事項として、定数の見直し、部局長会議と評議会の役割について等、経営企画本部で検討し、後日提案したいことが述べられた。

※学長から、次回の教育研究評議会を、定例の5月25日（木）の15時から開催することが述べられた。